

ガバナー一月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER 2006→2007

NO. 7



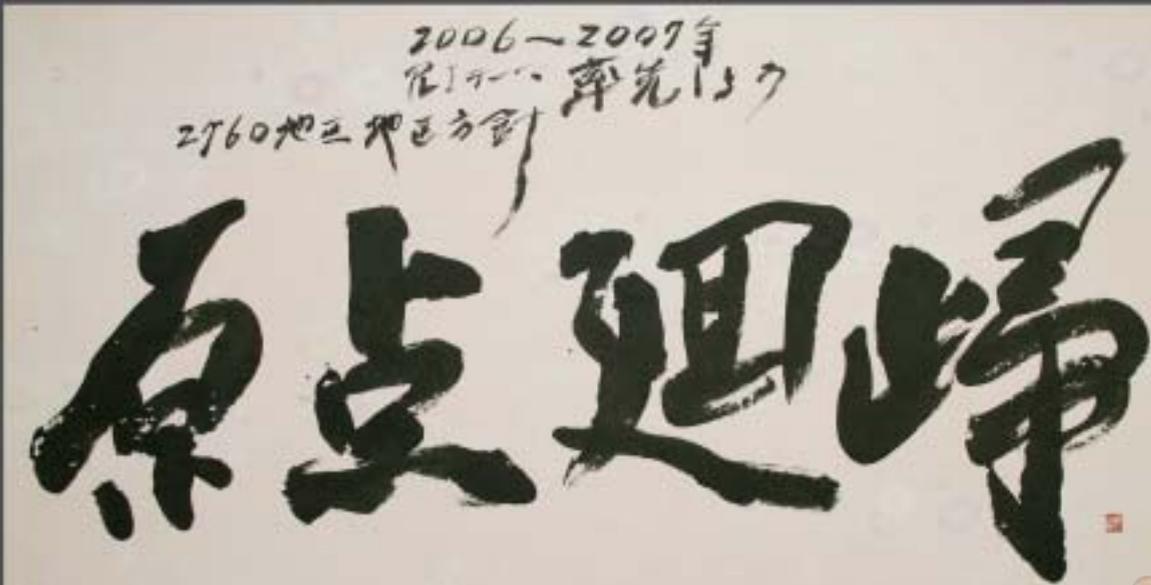
ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

2007年
1月1日発行

1月は、ロータリー理解推進月間です。

ガバナーメッセージ	2	地区WCS活動	7
ガバナー公式訪問	4	地区大会詳報	8
I.M.開催のお知らせ	5	ガバナーからのお知らせ・報告	13
ガバナーノミニ一頓首采配	6	会員数及び出席報告	14

1月



国際ロータリー
第2760地区
ガバナー 斎藤 直美

〒470-0373
豊田市四郷町東畑125 さなげメディカルビル内
TEL.0565-44-2760 FAX.0565-44-2761
E-mail governor06-07@rotary2760.org
Governor's HP <http://2760.jp>



Governor Message

ガバナー メッセージ

クラブ会長各位
クラブ幹事各位

平成19年1月4日
RI 第2760地区
ガバナー 斎藤 直美



「テキサスの野の東や初日の出」

－米山梅吉（1918年ダラスの福島宅にて）－

新年明けましておめでとうございます。

米山梅吉翁が、この年ダラスの福島喜三次氏（のちの東京 RC 初代幹事）宅で詠んだ句であります。

この時彼はロータリークラブについて福島氏から説明を受けていたのでしょうか？1920年10月20日東京 RC の創立総会が開かれましたからいささか気になるところであります。

創立された東京 RC は熱心なクラブ運営をするでもなく過していたようですが、1923年の関東大震災に対する世界のロータリーからの支援の大きさに驚き、それを境にロータリークラブの活動に力を入れるようになったそうです。

その後、大阪－神戸－京都－名古屋とつづくロータリークラブの設立は台湾・朝鮮・満州に拡大し日満ロータリークラブ連名をも作ろうとする勢いで、世界情勢のため RI からの脱退と復帰というドラマを経してきました。復帰後の日本ロータリーは拡大と増強を続けロータリー財団寄付率第2位とロータリー大国へ成長しました事は皆さん御存知の通りであります。

拡大と増強の物語は、「ヨーロッパの辺境の地の先まで領土を膨張させ、その先に没落を招いたローマ帝国」に似なければよいがと下司のかんぐりをする新春であります。

さて2007年はどんな年になるのでしょうか。昨年の世相を表す漢字は「命」でしたが、今年の師走にはどんな文字で表現されるのでしょうか、未来へつづく夢のある漢字でありたいものです。また今年の4月22日～28日の1週間は3年に1回開かれる RI 規定審議会がアメリカのシカゴで開催されます。

現在手許にある161の案件を眺めてみますと世界のロータリアンがロータリー運動の中で何に関心を示し、何を改訂して欲しいのかが見えてきます。大雑把にまとめてみますと

- ①クラブ例会数を週1回から月1～2回へ変更する。
- ②例会出席義務回数を半期60%、30%を50%、25%にする。
- ③メイクアップ期間のしほりをもっとゆるめること。

以上の①～③に関するもの25件の議案提出予定となっていますが、RIの拡大・増強のための施策と勤ぐっていましたが、むしろロータリークラブ側の提案と見せ付けられてはロータリーの墮落としか考えられません。定款・細則を承認して創立したクラブなのに“恥”だと思わなくてはならない提案です。

- ④会員資格に弾力性をもたせて入会条件を拡げる（17件）。これは増強の切り札となりますかどうか？

⑤プログラムを考える (39件)。

1. ポリオを最後までやること。
1. 「水」問題をポリオの後のテーマとして取り上げること。
1. 青少年奉仕を奉仕の第5部門とすること。
1. インターアクト, ローターアクトの年齢制限の改訂。
1. ロータリー特別月間の変更を求める (水・友情・博愛・女性などを新設する)
1. ロータリー第二モットーを決議23-24に復活させる事。及び They を Her に変更すること。

⑥ロータリー財団に関して (23件)。

1. DDF の20%地区補助金を30~40%へ引き上げる。
1. クラブの奉仕活動に DDF を使えるようにすること。
1. マッチンググラントの最低額を2500ドルに下げるなど用途にも巾をもたせる。(現在5000ドル)
1. GSE の年齢をはじめ運用などにゆとりをもたせる。

プログラムや財団への提案はクラブが真剣にプロジェクトに取り組んできた気持ちの表れと好感がもてます。以上をまとめますとやはり RI は、ゆっくりと大きな方向転換をしつづけていることがうかがい知れます。何時の時代からそれは始まったのでしょうか？

1966年 RI は WCS 活動に対する例外的措置として決議29-12号を撤廃して金銭的援助を可能にしました。そもそもこれがロータリーの原則を破った始まりだったのかもしれませんが。つづく1968~9年度理事会の決議によって WCS の性格が定義づけられたようです。決議は次のようなものです。

「世界社会奉仕は或る国のロータリークラブ又は地区が、他の国のロータリークラブに援助を提供して、そのロータリークラブが立案した自国の生活水準の向上に役立つ計画 (必要を充たすための計画) の遂行に協力し、かくて双方の地域社会間に国際理解を増進することを目的としたプログラムである」

ことここに至ってロータリーの原則が無視され、奉仕の方向転換が大きくはかられてしまったようです。それは以下の2点によるものです。

まず第一に他国のクラブの社会奉仕計画を我々国のクラブ又は地区が援助するプログラムであることはクラブの自治独立という原則を崩し、奉仕は個人として行なう原則をも崩していること。

2番目に WCS という性質上、単年度性とはならず、事業の継続性があり、地区委員クラブ委員の任務も継続すべきことが求められ個人を越え組織の活動になっていること。

この2つの事項は国際奉仕という第4の奉仕部門がロータリーに於いて確立した時 (1921年エジンバラ国際大会) の基本理念 “団体的行動をとってはならないし個々の会員に対して云々” に反するものです。

こうしてロータリーの歴史を振り返ってみますと曲がり角がはっきり見てとれます。

1966~'68年とつづく WCS というプロジェクトの確立はロータリーの伝統に革新をもたらした新しい奉仕のための組織運営の手法の出現と考えられます。この時から国際ロータリーは時代の要請を受けつつ40年間方向転換を続けているようです。変化している事は変質していることと同じで注意が必要です。私達ロータリアンはこの新しい組織運営の手法に感心してはいけなないのであります。

あくまでもこれはロータリー運動の効率化を求める便法であることを再確認しておかなくてはなりません。絶えず軸足 (ロータリー哲学) は固定しておかなくてはなりません。実践するにあたって、理念を確認しておく事が大切です。そして自信を持って WCS に参加しましょう。ポリオやきれいな水問題と取り組みましょう。

はからずも1月は「ロータリー理解月間」であります。ロータリアンとして貴兄の人生観を整理する一年が始まると思いますがいかがでしょう。今年も良き年でありますよう御祈念申し上げます。

(追伸) 2007年1月、2月の2回ラオスへ WCS 活動で行ってまいります。報告は順次させていただきます。

草々

ガバナー公式訪問報告

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
田原ロータリークラブ	藤井 國弘	富田 雅則	56名
田原パシフィックロータリークラブ	近藤 正美	鈴木 照幸	68名

開催日 10月31日(火)
開催場所 田原華山会館

10月31日(火)田原パシフィックRCがホストクラブを努め、親クラブの田原クラブとの合同で夜間の公式訪問を開催しました。

例会前の会長・幹事懇談会は両クラブのエレクト、副幹事も同席し、遠路然も夜間に渥美半島までご足労いただいた斎藤ガバナー、藤井地区幹事より心暖まるご指導、お励ましを賜りました。

お二人から醸し出された『斯くあるべき』という人生を達観したご示唆に、ややもすると形式張った公式訪問であったり。教科書通りのロータリー活動について。という従来の公式訪問とは異質の大切な『モノ』を両クラブに残して頂き、ロータリアンであった為に接する事が叶った、お二人の先輩に感謝申し上げますと共に、若くて経験の浅い田原パシフィックRCとしては、幾多の人材に恵まれている豊田RCが羨ましくも思いました。



開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
刈谷ロータリークラブ	盛田 豊一	鈴木 豊	95名

開催日 11月6日(月)
開催場所 刈谷商工会議所 2F



11月6日(月)斎藤直美ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。例年と異なり、当クラブ単独の訪問ということで緊張の中お迎えいたしました。

例会前に行なわれた「会長・幹事会」には、当クラブより、副会長・会長エレクト・副幹事も同席し、開催をさせていただきました。盛田会長より会長方針の説明、幹事より3~4委員会の説明後、斎藤ガバナーよりご質問等があり、ご指導、ご示唆をいただきました。最後に今後の運営活動へのご指導をいただき、大変有意義な会となりました。

例会においては、主に「職業奉仕やクラブ奉仕の重要性の再確認」、「ロータリー運動が起こった100年前に戻りましょう」についてお話いただきました。

ロータリークラブやロータリー活動の原点とは何なのかということや、クラブ例会への出席や先輩との交流の重要性について、いろいろな例もあげてわかりやすくご説明いただきました。入会間も無い会員も多い当クラブにとって大変勉強になった例会だと思います。今回ご指導いただきましたことを今後のクラブ運営に反映させていきます。

ご多用の折貴重なお時間を頂戴しまして、本当にありがとうございました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
渥美ロータリークラブ	朽名 誠	川口 敏郎	40名

開催日 11月1日(水)
開催場所 蒲郡信用金庫渥美支店 2F

11月1日(水)斎藤ガバナー、藤井地区幹事を11月とは思えない程の暑いときと言ええる好天の中、ガバナー訪問をお迎えました。



まず、一昨年ロータリー財団の補助金にて一般住民の参加を募って植樹した河津桜を見て頂きました。その後、会長・幹事懇談会の席ではクラブのかかえる会員増強、退会防止の件、更にバスト会長の処遇などにつきご相談申し上げたところ、懇切丁寧なご助言を頂きました事を書面を借りて厚くお礼申し上げます。

今後のクラブ運営に是非活用していきたいと思います。沢山の会員の参加で行なわれた例会ではクラブ歌「我がガバナー」を全員で斉唱し、斎藤ガバナーからもクラブ固有の歌を持っているクラブは少ないとお褒めの言葉を頂きました。スピーチではWCSを例にとり個人としてのロータリー活動の重要性を説かれ、また各クラブの情報交換の必要性にも言及されました。

最後にバスト会長の経験と情報網はクラブの立派な財産であり、これを活用して強いクラブを作りあげていくべきと述べられました。我々のクラブもバスト会長の方々のお力をかりて是非強い体質のクラブ作りにも励んでいきたいと思えます。

斎藤ガバナー、藤井地区幹事におかれましては地区最南端の当クラブまで遠路はるばるお越し頂きご指導を受けました事を厚くお礼申し上げます。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋南ロータリークラブ	木戸長一郎	遠山 孝次	116名
名古屋東南ロータリークラブ	大西 弘高	成瀬 和男	71名

開催日 11月8日(水)
開催場所 名古屋観光ホテル

本年度のガバナー公式訪問は名古屋南ロータリークラブがホストクラブとなり、名古屋東南ロータリークラブとの合同例会の形で11月8日(水)斎藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎えして開催致しました。

例会前の両RCの会長・幹事懇談会では、まず名古屋南RCが会長方針、クラブ計画書に基づく事業計画を説明したところ、ガバナーより、率先、奉仕、ロータリーの原点等について、適切且つ有意義なアドバイスを頂きました。

又、会員増強・分類、米山記念奨学、ロータリー財団、広報・雑誌、ロータリー情報の各委員会に関しても次期よりのクラブ運営に関する参考となるご意見を多々頂きました。

名古屋東南RCは、片山ガバナー補佐を始めたくさんの地区役員を出している旨、他クラブにない三つの合同委員会の件、リメンバーズ会員、家族委員会主体の家族例会、職場例会、ゴミゼロ運動等、社会奉仕運動の百果林運動に興味を示されました。

例会においては、まずRI会長の「率先しよう」の方針をふまえ、

1. ロータリーが率先すべきことは何か
2. ロータリーの原点とは何か
3. 奉仕とは何か

のわかりやすい説明を頂きました。又その中で我々がクラブ奉仕、職業奉仕に徹して行くことが社会奉仕、国際奉仕へと繋がって行くのでありロータリアンとしての成長の道であるとお話を頂きました。



●●● ガバナー公式訪問報告 ●●●

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
豊田三好ロータリークラブ	鈴木 玉機	石川 道男	21名
豊田西ロータリークラブ	石川 進	梅村 正裕	101名

開催日 11月13日(月)
開催場所 名鉄トヨタホテル



本年度のガバナー公式訪問は、豊田三好 RC が幹事クラブとなり、豊田西 RC との合同例会として斎藤直美ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えして開催いたしました。

午前10時30分より会長・幹事懇談会が開催され、豊田三好 RC・豊田西 RC の順でクラブ計画書に基づいて、会長方針及び事業計画をご説明いたしました。斎藤ガバナーからは、クラブ計画書に沿ってご質問をいただき、合わせてクラブ運営・活動のあり方など、詳細にわたりご指導をいただきました。

例会では、斎藤ガバナー・藤井地区幹事がガバナー公式訪問で回られたそれぞれのクラブで、すばらしい事業が展開されていることを熱く語っていただきました。また「原点回帰」についても、折に触れその考えを解りやすく伝えていただきました。

近隣の RC が今、どのような事業を行っているか、どのような問題提起をしているのかを知らないこと。先輩ロータリアン達が作り上げてきた、ロータリーの良き慣習や事業が忘れ去られていること。今日1日を通じて考えさせられました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
豊田ロータリークラブ	川崎 英徳	杉浦 敏夫	79名

開催日 11月16日(休)
開催場所 豊田キャッスル

11月16日(休)10時30分より、斎藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎えし、新装された豊田キャッスルにて懇談会並びに例会を開催しました。

懇談会では、当クラブの活動の現況報告の後、意見交換をさせていただき、適切なアドバイスをいただきました。

特にこの日がガバナー公式訪問の最終日だったこともあり、各ロータリーを公式訪問された中で特に印象に残ったロータリークラブの素晴らしい活動内容などをご紹介いただき、今後の活動に活かしていきたい点をいろいろ教えていただきました。これまで当クラブはどちらかと言うと、他クラブの活動情報に疎く、自分たち流で進めてきた帰来があり、大いに反省しました。今後は、他クラブの活動情報を適切に入手し、当クラブのロータリー活動の質的な向上に努めていきたいと思っております。最後に、本日が公式訪問最終日でもありましたので、ガバナー輩出クラブとして斎藤ガバナー、藤井地区幹事にその労をねぎらい、花束をお贈りし、楽しい中にも有意な例会を終える事ができました。



2006~2007年度 I.M.開催のお知らせ

2月分

南尾張分区	日 時：2007年2月10日(土) 15:00~19:00 I.M.テーマ：「原点回帰」 講 師：斎藤直美 DG 「ロータリー運動を考えよう」	場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
西尾張分区	日 時：2007年2月4日(日) 15:30~20:00 I.M.テーマ：「原点回帰」 講 師：斎藤直美 DG 「原点回帰」	場 所：名鉄グランドホテル
西名古屋分区	日 時：2007年2月7日(水) 16:00~19:30 I.M.テーマ：「ロータリーに心を ロータリーを心に」 講 師：加納泉 PDG (パネルディスカッション講師)、 岡部快圓 PDG (講演「原点回帰」)、片山主水ガバナー補佐 (基調講演)	場 所：名古屋マリオットアソシアホテル
東名古屋分区	日 時：2007年2月5日(月) 16:00~19:20 I.M.テーマ：「たのしく、ためになるロータリー」 講 師：ジャーナリスト 内田忠男氏「最新世界情勢と日米」	場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル

ガバナーノミニー頓首采配



名古屋東南R C
片山 主水

この度、現斎藤年度、次期江崎年度に続く08～09年度のガバナーをお引き受けすることになり、過日の地区大会でご披露を受けました。

まことに光栄に思いますとともにその責任の重大さに気の引き締まる思いでいっぱいです。

歴代ガバナーの方々のガバナー然とした風格ある姿とその足跡を思い浮かべますと、多少ロータリーに心を注ぎ多少ロータリーを心にとめて、親睦と奉仕の活動に経験を積んだという以外に取り立ててこれはというものがない私が、そのあとを汚さず続けるなど到底できない相談ですが、それもこれも折り込み済みであるとのことですので、それならば地で行ってもと、多少緊張の糸を緩めているところです。

しかしながら、ガバナーを引き受けさせていただきます以上は、全力をもって当たる覚悟でおりますが、会員の減少に象徴されるように、ロータリーがむつかしい下り坂の曲がり角に差しかかっている時だけに、少数・単年度制の長所を生かしながら数年度緊密な連携のもとに一丸となってこの難局を乗り越えるのが上々策ではないかと思っています。

ロータリーが奉仕を重要な目的の1つに掲げ、奉仕活動をロータリアンが義務の念のみをもってするというのではなく、持続的にしかもロータリアンの善意好意のもとで自主的な参加によってやっていこうとする限り、ロータリーはその善意と好意を生み出す親睦活動をその重要な不可欠の基礎活動と考えなければなりません。義務の念だけを強調し親睦活動を疎やかにすればやがて奉仕活動は活力を失わない会員の減少にまで至るでしょう。

親睦自体は目的ではないけれども上記の意味においてロータリーには欠くことができない重要な活動であることを理解すると同時に、もう一つのロータリーの目的、ロータリアン自身の幅広い人間形成・人格陶冶・自己研鑽、この新しいロータリアンの目的をこの親睦の基盤の上に、綱領を変更して明記し、ロータリーの目的の2本柱として高く掲げなければならないと思っています。

以上、ガバナーノミニー就任にあたって思いの一端を披瀝させていただきましたが、このような基本的な傾向と対策をもって当たりたいと思っております。

どうぞ、地区内81クラブのロータリアンの皆様方その家族の皆様方またパストガバナー・現ガバナーをはじめ前後年度のガバナー・役員の皆様方、今後の絶大なるご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

地区WCS活動及び ラオス・ビエンチャンロータリークラブについて

世界社会奉仕委員長 水谷 金之

私共地区世界奉仕委員会では3360地区（タイ チェンマイ・チェンライ）のロータリアンから2760地区に毎年 WCS 活動をして戴いて大変小学校等の施設が良くなりましたのでここで隣の国のラオスに100周年を記念して共同で活動をしませんかとお誘いがあり一昨年ラオスに訪問致しました。皆様御承知の事と思いますがラオスは世界の10大貧困国の一つと言う事で産業等はほとんどなく物価も日本の1/60～1/100の実状です。その首都のビエンチャンで国際ロータリークラブを名乗り30名程で今後活動をしたいとの事で資金がないので事務所等をドネーションしてもらえないかとの事でしたが正式な国際ロータリークラブになっていないので RI 本部に申請等3360地区と協力して行って下さいと御願い致しました。2760地区では昨年独自で地区一任の資金を有効にと思い JICA 下部組織の FORCOM を利用してラオスの第2の都市ルアン普拉バンの郊外のハットファイ村に小学校を建設致しました。

その際ビエンチャンに寄ましてロータリークラブを訪問3,000米ドルを寄付小学校等に利用を御願いしてまいりました。その際まだ正式に承認をされていないとの事で頑張ってくださいと激励をしてまいりました。昨年5月プライベートでタイチェンマイに訪問致しました時に WCS の地区委員長である通称ケンジロー氏にラオスのロータリークラブについて聞きました処まだ手続をしていないとの事で私はカンボジアの例を出しカンボジアは3350地区（タイ・バンコク）の1ロータリークラブで活躍しているとの事でラオスも3360地区の1クラブとして申請をしてみたらと進言を致しました。早速ケンジロー氏がラオスの人と相談し RI 本部に連絡した処、昨年9月 RI 国際ロータリー会長がラオスを訪問されその後正式に RI 本部から認承するとの事で祝福の電話がウイリアム（ビル）B ボイド会長からケンジロー氏に直接入ったそうです。昨年10月我々も今年度の WCS 活動をする為ラオスに入り FORCOM に再度御願いしてナン郡のホアイサー村小学校の建設を決定してまいりました。帰りにビエンチャンによりお祝いによりました処、昨年の3,000米ドルを小学校2校の机・いす等に全額使われ現地を訪問、明細も戴きました。御礼の感謝状を2760地区に下さりバナー交換も出来ました。

現在ラオスビエンチャンロータリークラブの認承状がタイ3360地区のガバナーに送られて来たそうです。認承式等の準備に入っているとの事でした。

1月20日～27日迄ラオスに斎藤ガバナーを始めとして地区ロータリアン24名で小学校の引渡式に行きますがその際ビエンチャンロータリークラブに表敬訪問等計画し今後の WCS 活動の仕方を相談してまいりたいと思います。ロータリアンとしてこんな機会を得られました事は最大の喜びであります。皆様のクラブでも是非ラオスに直接 WCS 活動の程宜しく御願い申し上げます。



第1日目 アルバム



2006～2007年度 国際ロータリー 第2760地区



地区大会詳報

ホストクラブ/名古屋中ロータリークラブ

『ご挨拶』

R.I 会長代理
宮崎 茂和



①識字率向上について

今年度、R.I 会長の強調事項は、皆さまよくご存じだと思います。

一番はじめの識字率向上でございますが、識字率の低い国（ペナン/セネガル/バングラデシュ/エチオピア/パキスタン/コートジボワール/ネパール/イエメン/モロッコ等）では、戦争とか紛争とかが絶えず生活水準も低く、学校はあっても多くの子供は生活を支えるために労働に従事し、学校へは行くことができません。

教育の衰退が貧困、飢餓、人間性の失墜、すなわち 3H (Health/Hungeh/Humanity) の根底にあることを考えると、ロータリーはやっぱりこれを見逃すことはできないと思います。識字率の低下はその地域の人道的、教育的、生活の状況をそのまま反映しているようであります。

このような地域では少年兵が急増しております。体を売る少女が増えてきています。そして口減らしのためにストリートチルドレンとなります。文字を読めて書くことができる……これは民族を問わず人類としてのコミュニケーション、すなわち人間性を保つためには最も基本的な条件だと思います。

ボイド会長は、識字率こそが貧困の連鎖から逃れる道だと言われています。どうか各クラブにおかれましても、識字率の向上に向けたプログラムをぜひ組み入れていただきたいと思っております。

②水の保全について

二番目はですね。水の保全でございますが、世界中に存在する水でですね、飲むことができる浄水、きれいな水というのは、お風呂に一杯の水のほんの一すくいでございます。1リットルの水のたった一滴にしかすぎません。地球の総人口の六分の一、だいたい11億人の人が浄水を飲めない。1日約6,000人の子供が死んでいるという状態でございます。

世界中にはこのようにロータリアンが掘った井戸はたくさんございます。しかしこの井戸もいまや砒素の混入とか塩害なんかが生じていて、水位も1ないし2メートル下がっています。ですから実際に稼働しているのはその半分くらいではないかというように言われています。

食物を得るために必要な水をカソウ水と呼んでいます。1kgの牛肉を得るためには必要なトウモロコシなどを飼料を作るのに約20tの水が必要です。小麦1gに要する水は約1tだと言われています。

一方では焼き畑農業を含めて森林の伐採があります。これは世界では2秒間にサッカー場の広さの森林がなくなっているということでもあります。

カナダや欧米のロータリアン達は、汚水を太陽にさらした後、浄水に替える設備、バイオスローサンドフィルターをたくさん作り、水不足の地域に提供しています。このように浄水設備の不備な地域が世界にはたくさんあります。水資源の確保とともにロータリアンは奉仕をしているわけでもあります。

③保健と飢餓の追放

強調事項の三番目は保健と飢餓の追放でありました。

まずポリオはどうでしょうか。残念ながらまだ撲滅されてはいません。ポリオに罹患して下半身に障害をもった子供の運動会。この子達の生涯はどうなるのでしょうか。このような不幸な人を1人でも救うために、ポリオの撲滅はロータリーの悲願であります。この他にも1釣り6ドルの蚊帳を買うことのできないマラリアの発生地。また死者が余りにも多いので棺桶、死者を葬る棺桶が間に合わない、悲惨な状態にあるエイズなどの病気がありますが、ここでは省略をさせていただきます。

私は東京でサルバドさんの写真を見てきました。砂漠の中に造られているこれはタンザニアの難民キャンプです。水も食べ物もテントさえもらえない、病気になっても医者は常駐していません。このような人たちは生活の希望や夢を得られるでしょうか。人間性の失墜とはこのようなことではないかと思えます。

ブラジルの難民キャンプですが、子供達の玩具…玩具ですね。日本の子供達と比べてみてください。しかし子供達は学校へは行きたいんです。

スーダンのあるキャンプにエルトリアから到着した難民。何日間も水、食料は与えられず、子供はもはや歩く気力もありません。私たちロータリアンはやらなければならないことがまだまだたくさんあると思えます。

エチオピアの難民キャンプ場では、死亡した我が子を埋葬するのに泣きながら準備する父親の姿が…。

インドのムラガバード駅の風景は、停まった列車でもこのようにポリオワクチンを投与します。またスーダンの放牧地でもポリオとの戦いは続いています。ワクチンを入れて移動するためのクーラーボックスなどに対する費用、すなわちポリオプラスパートナーがいかに大切かが解ります。どうでしょう、このような現実を見てくると私達には、やらなければならない事がまだまだたくさんあります。少しでもヒューマニティを回復してもらい、これがロータリアンの夢ではないかな、そのように思いました。

※1人2滴のワクチン代：60セント。今までに20億人の子供達にワクチンを投与した。2005年だけでも49カ国、4億人の子供にワクチンを投与。(スライドより)

④よりよいロータリアンとしての義務とは

最期はロータリーファミリーであります。私たちロータリアンは自分の配偶者、子供を中心とした家族には、愛情と配慮と、感謝を持つことは当然であります。ロータリアン同士の家族は世界中にいて、交流、親睦を深めながらロータリーライフをエンジョイしています。

しかし私達には他にも数多くのファミリーがあります。ロータリーが家族同様の立場で育ててきた青少年交換、インターアクト、ローターアクトなどの新世代の方々。財団学友、米山学友、ザエラの修了者など大きな家族です。私たちはロータリーの概念をしっかり胸に抱きながらこの大家族を育ててきました。これはロータリーの将来を健全に保っていくために欠くことのできない、これは宝の山であります。しかし現実はどうでしょうか。私たちはこの宝の山を、ややもすると忘れがちになっているのではないかと思います。もっと親密な関係をロータリーサイドから発信をしていただきたい、そのように思えます。

以上、ボイド会長の4大強調事項について簡単に述べさせていただきました。

これのなかで1つでも良いからクラブで奉仕をしていただきたいと思えます。私達ロータリアンはロータリーという機構をただ作るだけが目的ではないはず。その機構は私達の崇高な目的を達成するための手段として用いる、これを忘れてはいけません。そのためにはロータリアンとしていろいろな奉仕プロジェクトに参加して、クラブを充実させることが肝要ではないかと思えます。

クラブ、地区、RI、財団、すべてがロータリアンの良識と善意によって行動するときポール・ハリスが言ったように寛容と慈愛と忍耐が必要であり、ロータリアンはこのような環境のなかで自分を磨き、よりよいロータリアンが育成されていくのではないのでしょうか。

私達を生んで育ててくれた母親のように、寛容と思いやりと誠実さを率先して実践することが重要だと思えます。この大会を皆様と共に大いに楽しませていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。どうぞご清聴有り難うございました。



第2日目 アルバム



『R.I.会長代理メッセージ 現況報告』

168カ国530地区でロータリー活動をしています

ロータリー財団の存在する国は、みなさんよくご存知でしょう。168カ国で変わりありません。しかし地区がひとつ増えまして、530地区になりました。これはロシアのウラル山脈のちょっと北側にひとつできたのですが、2220地区であります。世界のロータリアン数は、02、03年度はグローバルクエストということで増加しましたけれども、日本は減少しました。2005年6月末にはちょっと回復しまして、2006年6月末にはですね、122万2,775名と前年度より966名増強となっています。しかしですね、10月末、日本事務局の把握では120万9,573名で1万3,202名の減少になっています。

一方、世界の女性会員は増加しておりまして、06年の6月末には16万8,402名。10月末、日本事務局の把握では16万9,815となっておりまして、世界の全ロータリアンの14.03パーセントになっています。

世界のクラブ数でございますけれども、160クラブ増加しています。10月末には、3万2,613クラブであり、143クラブの増加がありました。クラブの平均は37名となっております。日本のロータリアン数は急激に減少してきました。約13万人いたロータリアンは本年7月末には、9万9,503名と10万台を割り込んでしまいました。23パーセント減少したわけですね。以後は10月末には、9万9,460名と、ちょっと減ってきているんですね。増強はされていません。

日本の女性会員数は順次増えていますが、その増加のスピードは鈍化してきています。06年6月には3,295名、10月末は3,244名と減少しました。日本での女性会員の比率は、3.26パーセントになり、世界の14.03パーセントに比べて著しく少ないこととなります。

一方、日本でのクラブ数は、1年間の純増は5クラブでありましたけれども、7月末にはなんと2クラブ減っております。10月末には、2,326クラブと、マイナス1クラブとなっております。

世界と日本の1クラブの平均会員数ですが、世界の37名に比べると、日本は42名であり、日本の方が多くなっております。しかしそれぞれ1クラブの会員数の減少は、世界では43名から37名で1クラブ平均6名の減少であるのに比べて、日本では65名から42名と1クラブ平均23名が少なくなっております。

ロータリアンの占める割合でございます。10年前には約13万人いた日本のロータリアン数は世界の約10.7パーセントを占めていたけれども、以後、10パーセントを切り、6月末では、8.11パーセントまで減少してしまいました。日本ではこの地区、2760地区と、私が所属しています2650地区は常にナンバーワンを争っています。ひとつがんばって私の地区を抜いていただきたい、そういう風に思いますので、よろしくお願いいたします。



R.I.の財務について

次はRIの財務についてであります。純資産は収入そのものが増加しているのに、790万ドル増加しました。2000年から03会計年度には、アメリカの投資環境は非常に不調でありました。支出が収入を上回り赤字になりましたけれども、03、04年度で大阪の国際会議がありました。あれでようやく息をふきかえしました。これは黒字だったんです。それともうひとつ、人頭分担金がありました。これでプラスに転じて、以後は順調に経過しております。

人頭分担金などその年会費の配分です。地区ガバナーへの配分が最も多くなっています。管理運営費とか、国際協議会の費用などに使われているのが現状でございます。

次はロータリー財団です。財団への寄付総額は、04、05年度は大きく増加しましたが、05、06年度には125.1ミリオンに減少しています総予算額は138.30ミリオンになっていて、そのうち寄付の総額は、先に言いました125.1ミリオンで、これに利息を加えて予算が組まれております。

世界でも日本でも02、03年度から寄付額は増加、これはPEFCですね。ポリオ撲滅募金キャンペーンがあったからぐっと総額は増えたわけでございます。

2760地区でもがんばっているのがよくわかります。会員数が著しく減った日本では、一人当たりの寄付額では以前よりも多いということになるわけです。がんばり方がよくわかります。

一方、支出、すなわちプログラムへの配分です。地区補助金は、このWFからは出しておりません。DDFから出ます。DDFとWFは50対50に分けています。まず地区へ50パーセントが配られ、その他WFからの支出が、これは利息も年次金の利息は50パーセント、恒久金の利息も50パーセント、地区に、DDFに入ってきますので、50パーセントにそれを足しますと、なんと私たちが寄付をしたお金の80パーセントないし85パーセントは私たちが使っているのです。財団奨学生に使っていたり、街のボランティアに使ったり、私たちの寄付したお金は、80ないし85パーセント私たちが使っているということになります。

ロータリー財団プログラムへの支出の内容はこのようになっております。これがWFからの支出であります。非常に簡単で、みなさんもっとお聞きになりたいことたくさんあると思うんですが、時間の制約もございまして、これで私の近況報告は終わりにしたいと思います。



2006-07年度 国際ロータリー第2760地区 地区大会
RI及びR財団の近況報告





2006-07年度RI会長代理
RI第2650地区バスターガバナー
宮崎 茂和(福井RC)



『地区大会を終えて』

地区大会実行委員長
一柳 鉾
(名古屋中ロータリークラブ)



ここに、国際ロータリー第2760地区2006～2007年度地区大会が好評の内に無事に終える事が出来大変喜んでおります。

宮崎R I会長代理を始め御参加を頂きました2,772名の皆様には心より御礼を申し上げます。

振り返ってみると、「あの地区大会は良い地区大会であった。」と言われるような印象の残る地区大会にしたいと計画の当初よりずっと考えて参りました。

「さすがにロータリアンの企画である。ロータリーだから出来る。ロータリーでなければ出来ない。」こんな大きな夢を掲げて実行して参ったつもりでおります。

名古屋中ロータリークラブの特色は先ず、会員141名の大所帯のクラブである事。そして加えて職業分類がきわめて豊富で多岐にわたっており色々な可能性を持っている事だと思います。

このメリットを活かし、メンバー全員の力とバランスを有効に引き出す事が出来るよう地区大会運営への全員参加を呼びかけ力を合わせてやって参りました。

幸いにして創立37周年を迎える当クラブも設立当初からの何事にも前向きで協力的な風土・伝統を維持しており、大した混乱もなくそれぞれの任務・役割を一生懸命全うして頂きこれも内輪の事ながら感謝致しております。実際の企画で参りますと、「スケールは大きく、充実した、品格を備えたものにしたい。」と思い、講師には第1日目には、大村北RCパストガバナーの佐古亮尊先生より格調高いロータリーのクラブ奉仕についてお話し頂き、第2日目には日本経団連名誉会長でありトヨタ自動車取締役相談役の奥田碩氏に「世界の現状と日本の針路」と題して御講演頂き共に感銘深くお聞き頂けたのではないかと存じます。

また、アトラクションでは日本室内楽アカデミー理事長の佐々木利子様に全てのコーディネートをお任せする事により統一感のとれた、爽やかで格調のある音楽演奏を準備致し、これも御堪能頂けたのではないかと考えております。

エージェントを使わず我々自身の持ち合わせる能力を最大限に生かし、例えば司会者には両日とも2組の会員夫婦に担当してもらい少しでも御参加の皆様にご心安らぐ雰囲気味わって頂ければと念じておりました。食事に関しましても出来る限りお楽しみ頂けないかと工夫を凝らし何度も試食会を催しながらやって参りました。

いかに努力を致して参りましても、不行き届きの点もあったかと思いますが、どうかロータリーの友情に免じてお許しいただきますようお願い致します。

最後に、宮崎茂和R I会長代理、斎藤直美ガバナーの御指導御協力と何と言いましても大勢の皆様にご参加頂きました事が何にもまして有り難く重ねて厚く御礼申し上げます。

ガバナー
からの報告

「第2回 NAGOYA UNDOUKAI 報告」

日時：11月26日(日)
場所：愛知県武道館

地区国際奉仕委員長 安井 隆豊

この愛知県の外国人登録者数は2005年に194,648人です。つまり人口の2.7%が外国人登録の人達で、これらの外国人との良いコミュニケーション作りは大変大事な事です。

今年度の地区国際奉仕委員会の各クラブへの提案として、名古屋ウンドウカイに参加しませんかと呼びかけをした。このウンドウカイは地元で学ぶ留学生や、企業で働く人達と家族を対象に日本のウンドウカイに参加し楽しんでもらう事により、国際交流と異文化理解そして参加者の親睦を深めようと名古屋商工会議所が昨年からはじめたものです。

当日は、ブラジル、ベトナム、アメリカ、フランスなど34カ国総勢780人が参加して、玉入れや綱くぐり、綱引き、立体パズル積みなどのゲームを楽しんだ。ロータリー関係としては、名古屋西クラブ関係企業からは17名、豊橋南クラブ、名古屋清洲クラブなどからの参加もあり、そして地区青少年交換の奨学生、米山奨学生とロータリーの関係者の企業で働く外国人とその家族ら約50名が参加した。当日会場まで来て頂いた千田G補佐をはじめ、多くのロータリアンの皆さんにお礼申し上げます。



ロータリーの友 表紙 入選作品のご案内 その3

「ロータリーの友」
8月号より、表紙写真
に会員の作品が掲載さ
れております。

総数249点の応募が
ありました。当2760地
区より3名の方が入選
されましたので、作品
を順次で紹介致します。



ロータリーの友
1月号表紙

常滑ロータリークラブ
谷川 和親さん

友好地区R I 2830地区(青森) との友好交流会参加者募集

11月に開催された2760地区地区大会にて友好地区協定を締結した2830地区(青森)との交流会を開催することになりました。

参加ご希望の方は、ガバナー
事務所までお問合せをお願い致
します。



- ◆開催地 青森県内
- ◆開催日 平成19年2月23日～25日
- ◆内容 2830地区・2760地区 交流会
ミステリー温泉・スキーツアー
- ◆交通手段 セントレアより飛行機にて移動

ガバナーからの お知らせ

▶▶▶ ガバナー賞・RI会長賞について

1. ガバナー賞応募の件

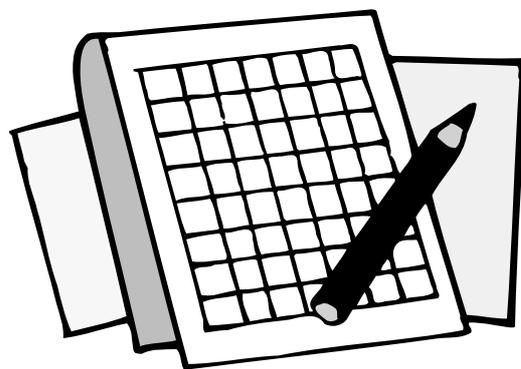
ガバナー賞へ御応募下さい!!

- 我々クラブ自慢の奉仕活動('06~'07年度)
- あのクラブのあのロータリアンを推薦
- 今年はこの委員会でこんな事を行った('06~'07年度内)等々。
 - ※800字以内にまとめて提出して下さい。
 - ※特に規定や資格はありません。
 - ※〆切：19年2月末日

2. RI会長賞の件

2006~07年度RI会長賞に挑戦してください。

- ※詳しくは地区便覧51頁をご参照下さい。
- ※〆切日要注意。



諸 会議及び日程

● 次年度地区チーム研修セミナー

日 時：2007年3月10日(土) 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
受付／15：00～ 会議／15：30～17：00 懇親会／17：00～19：00

● 2007～2008年度会長エレクト研修セミナー【PETS】

日 時：2007年3月17日(土) 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
受付／9：30～ 会議／10：00～16：00

● 地区協議会のための指導者会議 ホストRC：豊田東RC

日 時：2007年4月1日(日) 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
受付／13：00～ 会議／13：30～16：00

● 地区協議会 ホストRC：豊田東RC

日 時：2007年5月6日(日) 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
受付／9：30～10：20 会議／10：30～16：00

会員数及び出席報告 (平成18年11月分)

クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	11月出席率
	2006年7月1日	7月1日女性	2006年11月末日		11月	累計	11月	累計		
半田	60	3	61	3	1	3	0	2	4	100%
常滑	54	0	54	0	0	0	0	0	3	96.23%
東海	57	2	59	2	0	2	0	0	4	95.34%
東知多	24	1	24	1	0	0	0	0	4	79.35%
半田南	49	1	49	1	0	1	0	1	4	98.26%
知多	23	0	23	0	0	0	0	0	4	81.52%
大府	25	1	25	1	0	1	1	1	4	70.25%
7 RC	292	8	295	8	1	7	1	4	4	88.71%
一宮	78	0	81	0	0	4	0	1	4	98.29%
津島	75	3	77	3	0	2	0	0	3	90.86%
尾西	31	0	31	1	0	1	0	1	4	95.16%
一宮北	55	0	55	0	1	1	0	1	3	96.13%
稲沢	60	0	60	0	0	1	1	1	5	88.33%
あま	88	0	92	0	0	4	0	0	4	98.57%
名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	0	4	85.04%
尾張中央	46	0	46	0	0	1	0	1	4	95%
一宮中央	53	4	54	4	0	1	0	0	4	94.77%
9 RC	525	8	535	9	1	15	1	5	4	93.57%
瀬戸	73	3	78	3	1	6	1	1	4	100%
犬山	82	0	81	0	0	0	0	1	5	100%
江南	52	1	53	1	0	2	1	1	4	98.46%
小牧	51	3	51	3	0	1	0	1	5	88.86%
春日井	62	2	64	2	1	3	0	1	3	99.19%
尾張旭	30	0	30	0	0	0	0	0	3	100%
名古屋空港	56	1	56	2	0	1	0	1	4	100%
瀬戸北	70	4	70	4	0	0	0	0	4	100%
岩倉	19	0	19	0	0	0	0	0	4	100%
豊山・城北	20	1	23	2	0	3	0	0	3	88.89%
愛知長久手	22	2	25	2	0	3	0	0	4	76%
11 RC	537	17	550	19	2	19	2	6	4	95.58%
名古屋	178	0	192	0	3	16	0	2	4	91.37%
名古屋西	102	0	104	0	0	4	0	2	4	87.81%
名古屋南	114	0	117	0	1	5	0	2	5	93.41%
名古屋みなと	72	0	76	0	2	4	0	0	3	92.56%
名古屋東南	72	6	72	6	1	1	0	1	5	95.95%
名古屋中	137	0	140	0	1	4	1	1	4	100%
名古屋瑞穂	72	0	73	0	0	1	0	0	4	98.59%
名古屋大須	68	3	69	3	0	1	0	0	4	93.11%
名古屋栄	71	0	73	0	0	2	0	0	4	93.84%
名古屋名南	78	12	78	12	1	2	2	2	4	98.90%
名古屋名駅	93	4	97	4	2	6	0	2	4	93.58%
名古屋西南	48	6	48	6	1	2	1	2	4	95.48%
12 RC	1,105	31	1,139	31	12	48	4	14	4	94.55%

クラブ 平均

平均出席率	81	94.13%
-------	----	--------

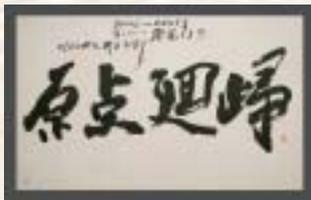
クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	11月出席率
	2006年7月1日	7月1日女性	2006年11月末日		11月	累計	11月	累計		
名古屋北	94	0	96	0	0	4	0	2	3	99.57%
名古屋東	91	0	90	0	0	0	1	1	3	90.91%
名古屋守山	65	7	66	7	0	2	0	1	5	95.56%
名古屋和合	96	0	99	0	1	3	0	0	4	89.86%
名古屋名東	57	6	60	7	0	3	0	0	4	100%
名古屋名北	46	7	51	8	3	5	0	0	5	97.84%
名古屋千種	58	6	59	6	0	3	1	2	4	96%
名古屋昭和	59	0	61	0	1	2	0	0	4	100%
名古屋錦	34	6	35	6	0	1	0	0	4	86.03%
名古屋東山	57	2	56	2	0	0	0	1	4	68.06%
名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	0	4	91.30%
11 RC	681	34	697	36	5	23	2	7	4	92.28%
豊橋	118	4	120	4	0	2	0	0	4	92.75%
蒲郡	58	0	59	0	0	3	0	2	3	91.05%
豊橋北	91	2	95	2	1	5	1	1	4	98.20%
豊川	68	0	67	0	0	0	1	1	4	96.23%
田原	56	1	56	1	0	0	0	0	3	87.50%
豊橋南	64	0	64	0	0	1	0	1	4	95.40%
新城	55	0	54	0	0	0	0	1	3	95.68%
渥美	35	0	40	0	0	6	0	1	5	88.90%
奥三河	20	3	20	3	0	0	0	0	5	90.50%
豊川宝飯	54	0	55	0	0	1	0	0	4	92.70%
豊橋ゴールデン	63	0	63	0	0	2	0	2	3	95.83%
田原パシフィック	68	0	68	0	0	0	0	0	4	87.38%
豊橋東	48	0	48	0	0	0	0	0	5	100%
13 RC	798	10	809	10	1	20	2	9	4	93.24%
岡崎	95	1	99	1	0	4	0	0	5	99.75%
豊田	80	0	79	0	0	2	0	3	4	100%
岡崎南	95	2	95	2	1	2	1	2	4	97.41%
豊田西	101	0	101	0	0	1	0	1	4	99.27%
岡崎東	65	0	61	0	0	0	0	4	4	95.50%
豊田東	81	0	82	0	0	1	0	0	4	96.59%
岡崎城南	74	0	75	0	0	1	0	0	4	94.64%
豊田三好	21	2	21	2	0	0	0	0	4	94.74%
豊田中	47	5	51	5	0	4	0	0	3	100%
9 RC	659	10	664	10	1	15	1	10	4	97.54%
刈谷	89	2	95	4	0	7	0	1	3	100%
安城	62	1	62	1	0	0	0	0	3	97.73%
西尾	74	1	74	1	0	1	0	1	4	97.69%
碧南	75	0	78	0	0	4	0	1	5	98.14%
一色	30	0	30	0	0	0	0	0	4	98.35%
高浜	41	2	41	2	1	1	1	1	4	100%
知立	66	0	66	0	0	0	0	0	5	100%
西尾 KIRARA	62	0	62	0	0	1	0	1	3	95.40%
三河安城	53	5	55	5	0	2	0	0	5	90.61%
9 RC	552	11	563	13	1	16	1	5	4	97.55%

地区内クラブ数 81RC	2006年7月1日会員数	5,149 名	内女性 129	増加会員数 (累計)	163 名
	当月会員数	5,252 名	内女性 136	減少会員数 (累計)	60 名
	当月平均出席率	94.13%		差引純増会員数 (累計)	103 名



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**

今月の
表紙



小原和紙工芸 日展会員
山内一生作
全日本書道連盟評議員
安藤豊邨書

小原和紙工芸の山内一生作
小原和紙に、2760地区斎藤直美
ガバナーの地区運営方針「原点
回帰」と全日本書道連盟評議員
の安藤豊邨氏が記した作品です。

安藤豊邨氏
プロフィール

1951年 愛知県豊田市に生まれる
1982年 毎日現代書道展会員賞受賞
1993年 中国南京博物院において個展、
刻字大作「天空」が収蔵となる
2002年 文化庁所管国井誠海賞受賞
2004年 豊田芸術選奨受賞

■現在
全日本書道連盟評議員
毎日書道展審査会員
日本刻字協会理事長
豊田書道連盟理事長
愛知教育大学講師